

令和6年度

自己点検・評価書
(学校評価報告書)

大阪教育大学附属特別支援学校

1 附属特別支援学校の現況

(1) 学校名

大阪教育大学附属特別支援学校

(2) 所在地

大阪府大阪市平野区喜連4-8-71

(3) 学級数・収容定員

小学部（3学級：複式16名/18名） 中学部（3学年18名/18名） 高等部（3学年24名/24名）
計9学級 58名/60名

(4) 幼児・児童・生徒数

58人(男子40人・女子18人)

(5) 教職員数

校長(併任) 1人, 副校長 1人, 主幹教諭 1人, 指導教諭 1人, 教諭24人(うち, 臨時的雇用3人, 育児休業1人, 再雇用職員0人), 非常勤講師 3人
事務職員 2人(専任1人, 事務補佐員1人), 臨時用務員(用務員) 1人, 臨時用務員(栄養士) 1人

2 附属特別支援学校の特徴

- 1) 本校は、知的障害のある児童生徒を対象として、一人ひとりの障害や発達の状況に応じた適切な教育を行うことを目的とした学校である。
- 2) 1学年1クラス（小学部は2学年で複式学級）で構成するなど、きめ細やかな指導を目指す特別支援学校である。
- 3) 本学平野地区では、附属五校園（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）が連携を行い研究や交流を深めている。

3 附属特別支援学校の役割

- 1) 大阪教育大学の附属学校として特別支援教育の理論と実際に関する研究を行うこと。
- 2) 本学の教育実習機関として学生の教育実習、介護等体験実習、インターンシップ、学校実習(教職大学院生)などにおいて適切な指導を行い、もって次世代の教員養成の任を担うこと。
- 3) 教育全般に関する理論研究を行うと共に知的障害のある子どもの教育実践に役立てること。
- 4) 特別支援教育のセンター的役割を担い「相談・支援センター」を拠点に地域に発信していくこと。
- 5) 安全教育や防災教育などについて、地域や関係諸機関と連携しながら取り組んでいくこと。

4 附属特別支援学校の学校教育目標

1. 教育目標

- ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。
- ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。

2. 目指す子ども像

- ・明るく健康で意欲的な子ども
- ・仲間とともに活動に参加できる子ども
- ・自分で考え行動できると同時に、社会の一員としての自覚を持つ子ども

5 附属特別支援学校の学校教育計画

1. 教育方針

- ・一人ひとりの存在と能力を尊重し、集団的あるいは個別的指導を通じて発達の可能性をより豊かに実現させる。

2. 重点施策

1) 本校の児童生徒に対する質の高い教育実践の取り組みと安心・安全な学校づくりを行う。

- (1) 児童生徒の実態把握と「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の充実に図る取り組み
- (2) SPSの理念となる7つの指標に基づく安全・安心な学校運営の推進
- (3) 非暴力の文化・風土の醸成と実践

2) 大学との連携深化により、教員の専門性向上を図るとともに、質の高い教員養成に寄与する取り組みを行う。

- (1) 教員の現代的ニーズに応える研修と新たなニーズを喚起する研修の企画と実施
- (2) 先導的な研究開発の取り組みにおける大学教員との連携促進と本校における全体研究・ユニット研究の質の向上
- (3) 教育実習・インターンシップ・介護等体験（学部生・特別専攻科生）および学校実習・発展課題実習（教職大学院生）における大学との連携の促進

3) 特別支援学校のセンター的機能の発揮および保護者・卒業生・地域等との連携を促進する取り組みを行う。

- (1) 附属特別支援学校相談・支援センターの機能強化と連携型教育実践等を通じた平野地区附属五校園を中心とする他の学校園との連携の促進
- (2) 保護者・PTA役員会・教育後援会・芙蓉会（卒業生）との連携の促進
- (3) 防災・防犯等の取り組みを含む地域連携の促進

4) 本校スクールポリシーの実現に向けた取り組みを行う。

- (1) グラデュエーションポリシー実現に向けた取り組み
- (2) カリキュラムポリシー実現に向けた取り組み
- (3) アドミッションポリシー実現に向けた取り組み

5) 学校組織マネジメントと学校の活性化の取り組みを行う。

- (1) 本学附属学校としての役割の強化と改革
- (2) 学校教育活動を止めない体制づくりおよび対策と備えの検討
- (3) 「教職員の働き改革」に関する事項についての点検と促進

6) 情報の発信と保護者・卒業生等の連携の促進を行う。

- (1) Society5.0時代を見据えたICTを活用した教育変革
- (2) 「教育情報セキュリティポリシー(附属学校園教育情報セキュリティ対策基準・方針)」に基づいた情報環境整備
- (3) 学校の教育活動における情報発信の促進

6 附属特別支援学校の令和6年度 重点目標(評価項目), 具体的な取組内容(評価指標)・評価結果

評価の基準

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	おおむね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。 ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。
学校教育計画	1) 本校の児童生徒に対する質の高い教育実践の取り組みと安心・安全な学校づくりを行う。

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) 児童生徒の実態把握と「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の充実を図る取り組み	①						
	②						
(2) SPS の理念となる7つの指標に基づく安全・安心な学校運営の推進	①						
	②						
(3) 非暴力の文化・風土の醸成と実践	①						
	②						

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。 ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。
学校教育計画	2) 大学との連携深化により、教員の専門性向上を図るとともに、質の高い教員養成に寄与する取り組みを行う。

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) 教員の現代的ニーズに応える研修と新たなニーズを喚起する研修の企画と実施	①						
	②						
(2) 先導的な研究開発の取り組みにおける大学教員との連携促進と本校における全体研究・ユニット研究の質の向上	①						
	②						
(3) 教育実習・インターンシップ・介護等体験(学部生・特別専攻科生)および学校実習・発展課題実習(教職大学院生)における大学との連携の促進	①						
	②						

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。 ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。
学校教育計画	3) 特別支援学校のセンター的機能の発揮および保護者・卒業生・地域等との連携を促進する取り組みを行う。

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) 附属特別支援学校 相談・支援センターの機能 強化と連携型教育実践等 を通じた平野地区附属 五校園を中心とする他の 学校園との連携の促進	①						
	②						
(2) 保護者・PTA 役員 会・教育後援会・芙蓉会 (卒業生) との連携の促 進	①						
	②						
(3) 防災・防犯等の取り 組みを含む地域連携の促 進	①						
	②						

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。 ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。
学校教育計画	4) 本校スクールポリシーの実現に向けた取り組みを行う。

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) グラデュエーションポリシー実現に向けた取り組み	①						
	②						
(2) カリキュラムポリシー実現に向けた取り組み	①						
	②						
(3) アドミッションポリシー実現に向けた取り組み	①						
	②						

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。 ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。
学校教育計画	5) 学校組織マネジメントと学校の活性化の取り組みを行う。

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) 本学附属学校としての役割の強化と改革	①						
	②						
(2) 学校教育活動を止めない体制づくりおよび対策と備えの検討	①						
	②						
(3) 「教職員の働き改革」に関する事項についての点検と促進	①						
	②						

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と相互依存、社会参加に向けて一人ひとりの可能性を最大限に引き出す。 ・キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける。
学校教育計画	6) 情報の発信と保護者・卒業生等の連携の促進を行う。

本年度の重点目標 (評価項目)	具体的な取組内容 (評価指標)	自己点検評価			学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
		達成状況	改善点	評価	意見・理由	評価	
(1) Society5.0時代を見据えたICTを活用した教育変革	①						
	②						
(2) 「教育情報セキュリティポリシー(附属学校園教育情報セキュリティ対策基準・方針)」に基づいた情報環境整備	①						
	②						
(3) 学校の教育活動における情報発信の促進	①						
	②						

